若年者雇用対策に関するロジック・モデル―文部科学省関係 <インプット> <課題> **<アウトプット> <アウトカム>** (短期 (中長期) (各学校段 職場体験やインターンシップ(就 ○職場体験の実施状況 基 新キャリア教育プラン推進事 ----高等学校におけるキャリア教 O「キャリア教育実践プロ O「キャリア教育実践プ (公立中学校) 業(~H18) 業体験)の取組等を通じ、児童 育の在り方に関する調査研究 ジェクト」指定地域数、学校 ロジェクト」事業実施後 苯 ○インターンシップの実施 (18年度予算額88百万円) (H19~) 生徒が望ましい勤労観、職業観 場 の生徒の意識変化 状況(公立全日制高等学 (19年度予算額208百万円) 自 を身に付け、個々の能力・適性 O「高等学校におけるキャ 隆を通 体 校) 学校段階 に応じて主体的に進路を選択す リア教育の在り方に関する O「目指せスペシャリス O「キャリア教育実践プロ 〇生徒の就職率 ることができるようにするなど、 調査研究」指定都道府県 キャリア教育実践プロジェクト ト」「日本版デュアルシ ジェクトバ高等学校におけ 数、指定学校数 (19年度予算額232百万円) キャリア教育の推進を図る。 ステム」において生徒の るキャリア教育の在り方に 実践力の習得や勤労 関する調査研究」事業実施 労 を育 在学 観・職業観の醸成が図 体系的 校、教師の評価 ഗ られたと回答した学校 からの適 専修学校 · 高等学校連携等職 目指せスペシャリスト「スー O「キャリア教育実践プロ 観 取 業教育推進プラン パー専門高校」 ○「スーパー専門高校」指 ジェクト」事業実施校の生 成生 (19年度予算額91百万円) 徒の評価 (19年度予算額180百万円) 定校数 組 な 若者 職 専門高校等において地域社 ○「日本版デュアルシステ か 0 ム」推進事業指定地域数 地域産業の担い手育成プロ 会との連携の強化等により、 専門高校等における「日本版 で も 推 6 ジェクト(H20~左記事業を拡 デュアルシステム」推進事業 将来の専門的職業人の育成 〇「専修学校・高等学校 切 〇企業実習に参加した生 観 (~H19) 連携等職業教育推進プ 徒数、参加日数、協力企業 を促進し、専門高校等の活 な職 の (19年度予算額19百万円) (20年度予算額390百万円) ラン」の講座の満足度、 性化を図る。 ものづくり人材育成のための 受講者の意識変化、専 に (間接的効果) 等 育 専門高校・地域産業連携事業 修学校・高校・自治体の 〇「目指せスペシャリスト」 業観 が推 自 (H19新規、左記事業分含む) 連携が受講者に与えた における連携協力機関数 (19年度予算額358百万円) 7 進 〇 大学等における学生の 勤 職業意識の形成に関わる (産学連携 〇大学院における長期 授業科目の開設状況 労観等の育成が不十分 インターンシップ参加学 現代的教育ニーズ取組支援プ 質の高い大学教育推進プログ 〇現代GP「実践的総合 よる深刻 生数、実施期間の変化 ラム(H20新規、発展的統合) ログラム キャリア教育の推進」申請 実施研究科数 (20年度予算額86億円) (19年度予算額5088百万円) 選定件数 会 の常用雇 大学等において、社会経済 に た高度 なも の複雑化・高度化に対応し、 貢 技術・ 社会を牽引できるような高度 ものづくり技術者育成推進事 の 備化、 献 含 な専門能力等を持つ人材の 業(H19新規) Ó テム」を実施した生徒の (19年度予算額150百万円) 養成を通じ、若年者の能力 進路状況 技能の習 す む 産学連携による実務型人材育 向上、就業選択肢の拡大を 派遣型高度人材育成協同プラ 成事業(H20新規、左記3つを 〇産学連携による実務型 若 る 図る。 発展的統合) 人材育成事業各テーマ(長 Ø. 成的 (20年度予算額733百万円) 年 (19年度予算額234百万円) 期インターンシップ・プログ トの ラム開発、ものづくり技術 サービス・イノベーション人材 業 材 育成 者育成、サービス・イノベ-育成推進プログラム(H19~) 職業 ション人材育成)の申請・選 き育 (19年度予算額150百万円) 定件数 0 \mathcal{O} 的 成勤 自 の就業に対する O「専修学校を活用した再 立 す 労 ---専修学校を活用した若者の自 「専修学校を活用した再チャレ チャレンジ支援推進事業」 大 〇「専修学校を活用し 等を対象と 立·挑戦支援事業(~H18) ンジ支援推進事業」(大学・専 〇「専修学校を活用し 各プログラムの申請・採択 る観 の (18年度予算額443百万円) 修学校等における再チャレン た再チャレンジ支援推 た再チャレンジ支援推 件数、受講者数、参加専修 意欲 進事業」の受講者の就 ジ支援推進プランの1つ) 進事業」の受講者の満 学校数 (19年度予算額768百万円) 専修学校におけるNPO団体等 足度、意識変化等 職状況 ○専修学校における開設 専修学校等における「学び する護 と連携したニートに対する職業 しん学び 学科数の推移 能 ഗ 教育支援事業(~H18) 直し」の機会の提供や公民 業観 (18年度予算額166百万円) 力 館を活用した社会参加へ 意識が の の支援等を推進する。 ○公民館等におけるニート ○公民館等におけるニート 的 向 逆点 支援モデル事業委託件数 支援モデル事業において、 社会人の学び直しニーズ対応 が不十 雇 自 各地域で実施された事業 教育推進プログラム(大学・専 公民館等におけるニート支援 用 立 の参加者数、参加者の意 修学校等における再チャレン ○「社会人の学び直しニー モデル事業 識変化 ジ支援推進プランの1つ) 自 (19年度予算額5百万円) ズ対応教育推進プログラ (19年度予算額1760百万円) ム」申請・選定件数 的青 間性青 性や少 自少 人間とした 〇二一ト等の自立に支援を 青少年の自主性や社会性等 〇青少年の意欲向上・ 立年 青少年の自立支援事業(~ 青少年の意欲向上・自立支援 要する青少年を対象にした の豊年 を育む、青少年の自立のた 自立支援事業において あ め 体験活動を実施する都道 育かの めの支援の体制の整備を推 各地域で実施された事 (18年度予算額185百万円) (19年度予算額188百万円) 府県数 成な社 遅社 業の参加青少年の変容 進する。 れ会